多摩六都科学館

戦後 80 年、水木しげる氏の戦争体験を描いたプラネタリウム番組「水木サンのみた暗闇 ―ぬりかべに遭った夜―」投影決定

多摩六都科学館（東京都西東京市、館長：髙柳雄一、以下「当館」）では、戦後 80 年を迎える 2025 年夏に、プラネタリウム番組「水木サンのみた暗闇 ―ぬりかべに遭った夜―」を投影します。
本作は、漫画家・水木しげる氏が記した戦争体験の著作をもとに、人気声優・古川登志夫氏の語りで再現するオリジナル作品です。1944 年（昭和 19 年）の戦地ニューブリテン島での日々を、プラネタリウムの暗闇と 6 ch サラウンド音響とともに追体験していただきます。
戦争の記憶を受け継ぎ、次世代に伝える貴重な機会として、ぜひ多くの方に見て、知って、感じていただきたいプログラムです。

特におすすめしたい方
・親子で戦争について考えたい方
・水木しげる氏の著作のファンの方
・プラネタリウムならではの特別な演出・音響体験を楽しみたい方

水木しげる氏　プロフィール
1922 年 3 月 8 日生まれ。鳥取県境港市で育つ。
太平洋戦争時、激戦地であるラバウルに出征、爆撃を受け左腕を失う。
復員後紙芝居作家となり、その後漫画家に転向。
代表作「ゲゲゲの鬼太郎」「日本妖怪大全」「河童の三平」「悪魔くん」など。
2015 年 11 月 30 日逝去。

イベントポスター

水木しげる氏の著作をもとに構成

漫画「ゲゲゲの鬼太郎」などで知られる水木しげる氏。絵描きを目指していた水木氏は、太平洋戦争中の 1943 年（昭和 18 年）に 21 歳で徴兵されました。日本軍が占領していたニューブリテン島のラバウルに出征し、左腕を失うなどの重傷を負いながらも終戦後に帰国した水木氏は、妖怪漫画だけでなく、自身の戦争体験をもとにした作品も多く描き残しています。
戦争を記した絵や言葉の数々からは、戦争の悲惨さや理不尽さが伝わってきます。一方で、過酷で凄惨を極める戦地においてもしなやかな感性を失うことなく、人間らしく生きようとした若き日の水木青年の姿を読み取ることもできます。
本作では、水木しげる氏の作品から絵や言葉を抽出・再構成し、戦地への航海や兵役の日々での、水木青年のすさまじい戦争体験を描きます。
制作にあたって、株式会社 水木プロダクションの協力のもと、水木氏の著作をもとにしたスペシャル企画が実現しました。

プラネタリウムの暗闇と 6 ch サラウンド音響で追体験する戦地

星空を再現するために存在する、わずかな光も入らない暗闇の空間、プラネタリウムドーム。今回はこの空間を駆使し、水木しげる氏が見た戦地での星空と暗闇を再現します。
東日本最大級である直径 27.5m のドームスクリーン、1 億 4000 万個の星を映し出す光学式プラネタリウム投映機、プラネタリウムのシミュレーション機能を用いた 1944 年当時の南半球ニューブリテン島の星空、高精細プロジェクタによる水木氏のイラスト・手記の映写、ドーム各所に設置されたスピーカーを最大限に活用した 6ch サラウンド音響、そして完全な暗闇により、他にはない特殊な没入感を創り出します。
プラネタリウムの機能とドーム空間を駆使した演出で、水木氏が見た戦争の現実と暗闇を追体験してください。

イベント概要

名称	終戦 80 年 水木しげるの戦争体験「水木サンのみた暗闇 ―ぬりかべに遭った夜―」
声の出演	古川登志夫
構成	牛尾茉由（演劇集団 円）
協力	（株）青二プロダクション、円 演劇研究所、鬼太郎茶屋、（株）水木プロダクション
音響制作	（株）エス・シー・アライアンス　前島慶太、金子孝志 、井上幸音
制作	多摩六都科学館指定管理者　株式会社乃村工藝社
会場	多摩六都科学館 プラネタリウムドーム（サイエンスエッグ） 〒188-0014　東京都西東京市芝久保町 5-10-64
日時	2025 年 7 月 26 日 (土)、8 月 6 日 (水)・7 日 (木)・8 日 (金)・9 日 (土)、 11 月 16 日 (日)・22 日 (土)・24 日 (月・祝) 全 8 回。各日とも午後 5 時開場、午後 5 時 20 分開演（約 60 分間）
推奨年齢	小学 4 年生以上（6/21 追記：3 歳以下入場不可） ※投影中は暗闇・無音・大きな音などの演出がございます。 また、戦闘の様子や、昭和の軍隊のありのままの描写が含まれます。 趣旨を充分にご理解の上、チケットをご購入ください。
定員	各回 234 人
料金・ チケット販売	おひとり 2,200 円 2025 年 6 月 21 日（土）午前 10 時販売開始 チケットのご購入は teket（右の二次元コード）から
問い合わせ	多摩六都科学館　info@tamarokuto.or.jp 電話番号：042-469-6100（午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時。休館日を除く）

メディア関係者・取材ご希望の方へ

7 月上旬に試写を予定しています。詳細は下記（広報担当）までへお問い合わせください。
電話番号：042-469-6100（午前 9 時 30 分～午後 5 時）
休館日：6 月 23 日 (月)・30 日 (月)、7 月 7 日 (月)・14 日 (月) ～ 16 日 (水)

プレスリリースに関する
お問い合わせ先

多摩六都科学館　広報担当（蓮田）まで
TEL　042-469-6100（代表）　042-469-6984（広報直通）
Mail　info2@tamarokuto.or.jp
URL　https://www.tamarokuto.or.jp/

多摩六都科学館 WEB